

名古屋大学博物館 第 33 回特別展 発光生物 裏庭から深海まで -光を操る生き物たち

光る生物は昔から人に驚きをもたらし、人を魅了してきました。しかし、人がよく目にする発光生物は、世界にいる種のほんの一握りにしかすぎません。発光生物は、海にも山にも、校庭にさえ次々見つかっています。一方、発光生物がどのように光るのか、なぜ光るのかについては、まだわからないことがたくさんあります。

この特別展では、生物発光学の第一人者大場裕一先生の協力のもと、世界にいる発光生物の多様性や仕組み、発光生物と人間の関わり、発光生物の謎に挑んできた研究者たちを紹介します。大場先生が語る「不思議に満ちた発光生物たちが地球のあちこちでひっそり闇を照らしていることの驚き」を、この特別展でぜひ体感してください。

開催概要

会期	2025 年 6 月 3 日(火)～10 月 18 日(土)
会場	名古屋大学博物館 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 東山キャンパス
開館時間	10:00～16:00 (入館は 15:30 まで)
休館日	休館日：日・月 ※特別開館 6/8(日)、夏季休館：8/9(土)～8/18(月)
入館料	無料
ウェブサイト	https://www.num.nagoya-u.ac.jp/exhibitions/special/#000799
主催・共催	主催：名古屋大学博物館 共催：中部大学応用生物学部

交通案内

名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学駅」2 番出口より徒歩すぐ

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください

お問い合わせ

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学博物館事務室

TEL：052-789-5767 / FAX：052-789-5896

名古屋大学博物館 第33回特別展

The 33rd Special Exhibition, Nagoya University Museum
The Wonder of Luminous Organisms

発光 生物

裏庭から深海まで - 光を操る生き物たち

2025

6.3 TUE — 10.18 SAT 入館無料

開館時間 10:00—16:00 (入館は15:30まで) 休館日 日・月曜休館

特別開館 6/8(日) 夏季休館 8/9(土)—8/18(月) ※ご来館の際は当館HP等で最新情報をご確認ください

会場: 名古屋大学博物館

主催: 名古屋大学博物館

共催: 中部大学応用生物学部

Nagoya University Museum
NUM 名古屋大学博物館
www.num.nagoya-u.ac.jp



名古屋大学博物館 第33回特別展

発光生物

イベント「光る生き物を見てみよう」

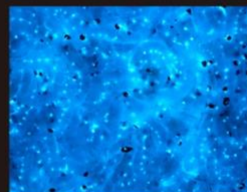
2025年6月7日(土)・8月8日(金)・10月18日(土) 13:30—15:00 ※各回とも同じ内容
ウミホタル、オキアミ、ヘイケボタル、発光バクテリアなど、光る生き物を実際に間近で観察し、
生物が光る仕組みについて学びましょう。

※WEB事前申込制・先着順(申込開始日等の詳細は名古屋大学博物館ウェブサイトでご確認ください)
<https://www.num.nagoya-u.ac.jp/exhibitions/special/#000799>

会場:名古屋大学博物館実験室

講師:大場 裕一(中部大学応用生物学部 教授)

定員:15名 対象:小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)



特別展関連講演会 (全3回) 対面・オンラインウェビナー同時開催

開催時間:13:00—14:30 会場:名古屋大学博物館3F講義室(対面)

定員:対面 50名/ウェビナー 200名

※WEB事前申込制・先着順(申込開始 6/3(火)13:00—)

<https://www.num.nagoya-u.ac.jp/exhibitions/special/#000799>



第1回 2025年6月28日(土)「陸の光る生き物たち」

大場 裕一(中部大学応用生物学部 教授)

光る生き物という、昔に見たホタルや、行くことのできない深海、熱帯の密林にいるような遠い存在だと思いませんか? 実は、近所の公園や海水浴場にも謎の発光生物たちがいるのです。本講演会ではまず、その簡単なさがし方を伝授します。もちろん、日本にはいない変わった発光生物も海外には知られています。タイでの発光カタツムリの発見エピソードなども紹介しましょう。



第2回 7月26日(土)「海で輝く微生物たち:発光細菌の発光色に秘められた生存戦略」

吉澤 晋(東京大学大気海洋研究所 准教授)

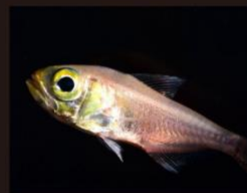
発光細菌は、海洋のさまざまな環境に生息し、自ら光を放つ微生物です。多くの発光細菌は青緑色に光りますが、なぜ特定の色なのでしょう? そもそも、目を持たない彼らが光を放つ理由とは? この講演では、発光細菌の生息環境や発光色の違いに注目し、生物発光がどのような生存戦略と結びついているのか、その謎に迫ります。



第3回 9月20日(土)「海洋発光生物の話」

別所一上原 学(東北大学学際科学フロンティア研究所 助教)

海の中ではそこそこで生物が発光しています。サカナ・クラゲ・ウミホタル・サンゴ...これらの生物はどのように光るのか、なぜ光るのか。深海調査から分子生物実験を駆使して明らかになってきた、海洋生物発光の謎に包まれた生態を紹介します。



〒464-8601 名古屋市中種区不老町 Tel:052-789-5767

名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学駅」2番出口より徒歩すぐ

※公共交通機関をご利用ください

www.num.nagoya-u.ac.jp

イベントの詳細・実施については、当館および当館ホームページにてご確認ください。

 Nagoya University Museum
名古屋大学博物館



名古屋大学博物館 第33回特別展 **発光生物** 裏庭から深海まで -光を操る生き物たち

関連イベント「光る生き物を見てみよう」

2025年6月7日（土）・8月8日（金）・10月18日（土） 13:30－15:00 ※各回とも同じ内容
ウミホタル、オキアミ、ヘイケボタル、発光バクテリアなど、光る生き物を実際に間近で観察し、生物が光る仕組みについて学びましょう。

※WEB事前申込制・先着順（申込開始日等の詳細は名古屋大学博物館ウェブサイトでご確認ください）

<https://www.num.nagoya-u.ac.jp/exhibitions/special/#000799>

会場：名古屋大学博物館実験室

講師：大場 裕一（中部大学応用生物学部 教授）

定員：15名 対象：小学生以上（小学3年生以下は保護者同伴）

特別展関連講演会（全3回） 対面・オンラインウェビナー同時開催

開催時間：13:00－14:30 会場：名古屋大学博物館3F講義室（対面）

定員：対面 50名/ウェビナー 200名

※WEB事前申込制・先着順（申込開始 6/3(火)13:00－）

<https://www.num.nagoya-u.ac.jp/exhibitions/special/#000799>

第1回 2025年6月28日（土） 「陸の光る生き物たち」

大場 裕一（中部大学応用生物学部 教授）

第2回 7月26日（土） 「海で輝く微生物たち：発光細菌の発光色に秘められた生存戦略」

吉澤 晋（東京大学大気海洋研究所 准教授）

第3回 9月20日（土） 「海洋発光生物の話」

別所－上原 学（東北大学学際科学フロンティア研究所 助教）

お問い合わせ

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学博物館事務室

TEL：052-789-5767 / FAX：052-789-5896